



大阪大学歯学会
The Osaka University Dental Society

NEWS LETTER



The Osaka University
Dental Society

October. 2009 | No.1

ごあいさつ

歯学会 会長 米田 俊之



歯学会というほとんどの方、特に学位を持っておられる方は学位論文を掲載する歯学会雑誌を思い浮かべられるだけで、それ以外には何をしている団体なのかご存知ないと思います。かくいうわたしも歯学会会長となるまでは歯学会に関する知識はほぼ皆無でした。一方歯学会自体も積極的に活動を進め、会員の方々にその活動をお知らせするという努力を怠ってきませんでした。

そういった過去を清算し、歯学会の認知度を高めると同時に同窓会との違いを明確にし、活性化を進めようということでこの2、3年様々な工夫を凝らしてきました。

たとえば、歯学会の質を高めるために、優れた英文論文や国際学会での発表に対して優秀研究奨励賞や優秀海外発表大学院生奨励賞などの賞を設けました。また気付かれた方もおられると思いますが、歯学会雑誌の表紙のデザインを会員の皆様方から募集したものを使って毎号新しくし、雑誌のサイズをA4判として一論文あたりのページ数を減らし、また1ページあたりの印刷代も値下げし、内容も学位論文や原著論文だけではなく、各診療科で行われている最新の歯科治療の紹介記事を掲載するなどいろいろな試みを盛り込んでいます。さらに市民の方に大阪大学歯学研究科/歯学部および歯学附属病院をより身近に知って頂くために、好評であった21世紀COEフォーラムを引き継いで市民フォーラムの開催を昨年からはじめました。

こういった工夫に加えて、このたび会員の皆様に歯学会の活動をこれまで以上に知って頂くためにニュースレターを発行する運びとなりました。生まれたばかりで紙面のデザイン、記事の内容など未熟なところが多く、お叱りを受ける点多々あるかと思いますが、編集委員一同、号を重ねる都度より良いものとなるように努力していく所存ですので会員の皆様の温かいご支援をお願い致します。

また内容を充実させるために是非にも会員の皆様方からの活発な投稿をお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



歯学部・歯学研究科の新棟

左手前が歯学部附属病院の新棟、左の奥が大学院歯学研究科の新研究棟です。歯学会の例会および総会は、新研究棟の5階 弓倉記念ホールで行われます。その他にも、吹田キャンパスには、新しい建物が多く建設されています。次の例会および総会は、11月12日に開催されます。学外会員の皆様も、リニューアルされた吹田キャンパスの散策と併せてご参加ください。



歯学会の風景

現在、歯学会例会は、新研究棟の弓倉記念ホールで開催されています。日歯の生涯研修の対象にもなっております。日歯カードをご持参のうえ、ご聴講ください。

CONTENTS

ごあいさつ 1

歯学会 会長 米田 俊之

大阪大学歯学会優秀研究奨励賞 2

大阪大学大学院歯学研究科 口腔細菌学教室 山口 雅也

優秀海外発表大学院奨励賞 2

大阪大学大学院歯学研究科 歯科補綴学第一教室 佐々木 淳一

大阪大学大学院歯学研究科 口腔治療学教室 藤原 千春

大阪大学大学院歯学研究科 小児歯科学教室 森 有可

大阪大学大学院歯学研究科 歯科保存学教室 吉岡 靖介

大阪大学歯学会 第108回例会報告 4

大阪大学大学院歯学研究科 歯科補綴学第一教室 福田 修二

大阪大学大学院歯学研究科 第7回 市民フォーラム 4

大阪大学歯学会優秀研究奨励賞と優秀海外発表大学院奨励賞

大阪大学歯学会では、大阪大学大学院歯学研究科においてなされた学位取得に関連する研究で、優れた研究成果をあげた者およびその指導教員に与えられる賞として、「大阪大学歯学会優秀研究奨励賞」を設置しています。また、優れた国際学会発表を行った本学の大学院生を奨励する「優秀海外発表大学院奨励賞」を新たに創設いたしました。NewsLetter誌の発刊にあたり、各受賞者からメッセージを寄せていただきました。さらに、受賞者の講演を聴講した大学院1年生の感想も掲載しております。今年度も2つの学会賞への申請をお待ちしています。

大阪大学歯学会優秀研究奨励賞

大阪大学大学院歯学研究科
口腔細菌学教室



山口 雅也

この度、大学院での研究で得られた成果が評価され、平成20年度の歯学会優秀研究奨励賞を頂くことになり、大変嬉しく思っております。大学院では、教室で新たに行う肺炎レンサ球菌についての研究を任せていただきました。大学院に入るまでにA群レンサ球菌についての研究をお手伝いさせていただいていたのですが、A群レンサ球菌と肺炎レンサ球菌は実験を進めていく上で異なる点多々存在し、様々な新しいことを学ぶことができました。最新の論文を読んで得られた知見を参考にして実験に活かすということができ、非常に充実した大学院での研究生活を送ることができたと思います。

このような研究を行ってこられたのも、研究環境を整えてくださった先輩の先生方のおかげだと痛感しております。自分も、自分自身の研究はもちろん、後輩たちが一層の研究成果を出せるよう、このような素晴らしい賞を賜りましたことを励みとして頑張っていきたいと考えております。



優秀海外発表大学院奨励賞

大阪大学大学院歯学研究科 歯科補綴学第一教室

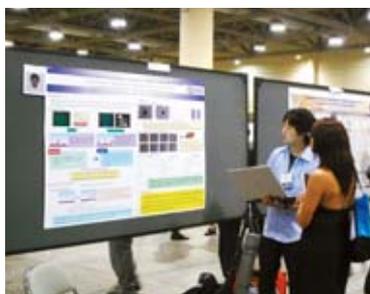
佐々木 淳一

2008年7月に行われました86th General Session & Exhibition of the IADRにおいて発表しました講演に対し、大阪大学歯学会から優秀海外発表大学院生奨励賞を授与いただいたことを大変光栄に思います。

本研究では機械的刺激が骨芽細胞に与える影響を検討することを目的とし、特殊な装置を用いて機械的刺激を付与したモデルと骨芽細胞をシート状に培養することによって細胞が培養基材から受ける機械的刺激を除去したモデルを作成し、その形質変化の検討を行いました。新規材料を用いた実験を行っており、発表前には材料特性や実験方法を英語で表現することの難しさに不安もありましたが、多くの研究者の方々に興味を持っていただくことができディスカッションを行えたことは非常に貴重な経験となりました。

今後はこれらの経験を生かして、研究・臨床・教育のすべての面において大阪大学に貢献できる人材になれるよう研鑽に励みたいと考えております。

最後に、大学院時代の研究遂行に際して多大な協力を賜りました歯科補綴学第一教室、歯科理工学教室、大阪大学歯学会の各位に心から御礼申し上げます。



発表中の筆者



ご指導して下さった先生
(左から筆者、松本先生、江草先生)

学生時代の同期と会場にて

藤原 千春

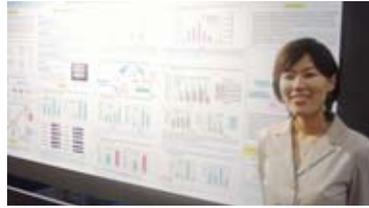
この度歯学会より、2008年7月にトロントで開催されたIADR General Sessionで行った発表に対し、海外優秀発表奨励賞を授かりました。

私は、ヒト歯根膜細胞にメカニカルストレスを加えた際、その特性の変化を分子、遺伝子レベルで解明することを目的として、研究を進めてきました。その結果、歯根膜にメカニカルストレスを加えると、グルタミン酸シグナルに関する遺伝子の発現が上昇することが明らかとなったので、本発表では、メカニカルストレス影響による、歯根膜細胞におけるグルタミン酸関連分子の発現、機能の一端を報告しました。

大会への参加は、Hatton Award Competitionへの参加を主な目的としていたので、Competitionでの発表や授賞式への参加など、普段の学会発表では得られない貴重な経験を得ることができ、思い出深い学会となりました。また、世界中からの研究者

と討論の機会を持つことができ、研究に対する大きな刺激を得ることができました。

最後に、このような機会を与えて下さった、奨励賞歯学会選考委員の先生方および、研究・発表においてご指導を頂きました、村上教授、山田講師に御礼申し上げます。



ポスター発表会場にて



Travel Awardを受賞しました

授賞式会場にて

森 有可

今回、2008年の7月に行われました第6回アジア小児歯科学会における発表に対して、歯学会より優秀海外発表大学院生奨励賞を頂きました。このような賞を頂いたことを大変光栄に思いますとともに、関係の先生方に感謝の意を表したいと思います。

学会は、マレーシアの首都であるクアラルンプールにて開催されました。国土の60%が熱帯雨林に覆われた国であるとは思えないほどに、高層ビルが林立する近代的な都市でした。国際学会への参加は私にとって初めてのことで、参加登録や参加費の納入等小さなことから一つ一つのことに戸惑いました。当日の発表は、ポスター形式で行われました。アジアの他の地域から参加されている小児歯科のドクターとディスカッションできたことは、私にとって非常にいい刺激となり、今後も国際学会に積極的に参加したいと思うようになりました。今回の学会参加により多くのことを学ぶことができ、大変貴重な経験であったと思います。

最後になりましたが、本研究および発表において多大な協力を賜りました、大嶋教授、川端教授、寺尾准教授、長崎大学の藤原教授、ならびに共同研究者の皆様、この場を借りて御礼申し上げます。



市内の旧国立モスク



学会場にて

閉会式の様子

吉岡 靖介

2008年7月にトロントで開催された86th International Association for Dental Research (IADR) General Sessionにおいて、“Microarray-analysis of Pulpal Gene Expression in Response to Cavity Preparation” の題目で行った発表に対し、この度、優秀海外発表大学院生奨励賞を授かりました。このような賞を頂いたことを非常に光栄に思うとともに、選考委員及び歯学会運営に携わる方々に深く感謝致します。

私にとっては学会発表自体が初めてのことであり、しかも自信がない英語での発表ということで、最初は不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、こんな機会はなかなか得ることができないという思いで、準備には多くの時間を費やしました。

発表はポスター形式で行われ、1時間半の質疑応答時間が設けられていました。幸いにも世界各国の研究者が、私のポスターにも訪れてくださり、様々なディスカッションを行っているうちに、始まる前にはとても長く感じていた時間があっという間に過ぎていきました。

また日本に戻ってからも、ディスカッションを通じて知り合った方々の論文を拝読することで、たくさんの興味深い知識を得ることができました。

今回得た大変貴重な経験を基に、広い視野を持って、さらに臨床・研究生活に励みたいと思います。



ポスターの前で指導教官の高橋助教と



トロントの街並み



学会終了後、歯科保存学教室の皆と

大阪大学歯学会 第108回例会報告

平成21年7月16日(木)午後4時から、大阪大学大学院歯学研究科 新研究棟の弓倉記念ホールにて、歯学会例会を開催いたしました。通例の一般演題発表に加え、歯学会会員である大学院生の活動報告セッションを設けました。本セッションでは、「優秀海外発表大学院奨励賞」受賞者による国際学会体験レポートに加え、文部科学省大学院教育改革支援プログラムと連携し、同プログラムの「海外武者修行派遣者」による海外研究室の体験報告を行いました。大学院生による発表ということもあり、これまでの例会以上に若い聴講者が多く見られました。

先輩の発表を受けて

大阪大学大学院歯学研究科
歯科補綴学第一教室



福田 修二

大学院の先輩方が行ってくださった、海外での学会発表や海外の大学での武者修行の体験談を受けて、大学院生の可能性の大きさと、自分自身が恵まれた環境にあることを痛感しました。

僕にとって先輩方の発表は非常に刺激的で、海外で活動を行うことで違った視点から日本を見ることが出来ることや、自分のしていることが海外でどのように評価されるのかなどが肌で感じる事が出来ることに面白さを覚えました。

自分も先輩方のような素晴らしい経験が出来るように大学院生として研究に励んでいきたいと思えます。

大阪大学大学院歯学研究科 第7回 市民フォーラム

毎秋、歯学会では、大阪大学 大学院歯学研究科/歯学部/歯学部附属病院と共催し、市民向けの公開フォーラムを開催しています。昨年度も定員を超える希望者から参加申込が届き、嬉しい悲鳴を上げることになりました。

平成21年度も以下の内容で、準備をおこなっております。ご来場いただければ、ホームドクターを求める患者様の多さに驚かれると思います。右のポスターには、A2版とA4版があります。医院等に掲示を希望される先生は、下記までメールをご送信ください。

日時：平成21年10月17日(土) 13時から16時

会場：毎日新聞ビル地下1階 オーバルホール

住所：大阪市北区梅田3-4-5

交通：JR「大阪駅(桜橋口)」から徒歩8分

JR環状線「福島駅」から徒歩5分

阪神「梅田駅」から徒歩5分

地下鉄「西梅田駅」から徒歩5分

参加およびポスター申込：7sanka@dent.osaka-u.ac.jp まで
なお、最新の情報は、リニューアルした大阪大学 歯学部・大学院歯学研究科の公式ホームページからも入手できます。

▶ <http://www.dent.osaka-u.ac.jp/>



大阪大学大学院歯学研究科 第7回 市民フォーラム
こうふく いざな
口福への誘い
歯科診療の新展開
「くまびと来た!」「口と歯」をまもる最新医療情報
2009年10月17日(土) 13:00~16:00
毎日新聞ビルB1 オーバルホール
入場無料 定員約500人
〒530-4251 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル地下1F
TEL 06-6346-8351

大阪大学歯学会
NEWS LETTER No.1
● 2009年10月号

2009年10月15日 発行
編集・発行 大阪大学歯学会
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-8 TEL(06)6875-8300 内線2044
ホームページアドレス <http://web.dent.osaka-u.ac.jp/~sigakkai/>